

令和7年度 総務企画委員会 県内所管事務調査の概要

令和7年5月12日（月）

◆調査箇所：大分県立総合文化センター（大分市高砂町）

【概要】

公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団は、大分県立総合文化センター及び大分県立美術館の指定管理者として、県民が芸術文化に触れ合う機会を提供するとともに、芸術文化ゾーンを拠点とするネットワークづくり等に取り組んでいる。

今回の調査では、両施設や財団の運営状況、令和7年度事業計画、またクリエイティブ人材の育成等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、近年改修を行ったホールやトイレ等の視察を行った。



＜主な質疑等＞

- ・チケット販売の収益について
- ・客席の収容率について
- ・おおいた国際交流プラザの相談状況について

◆調査箇所：土師振興協議会（豊後大野市大野町）

【概要】

土師振興協議会は三つの自治会により2012年に設立され、土師公民館に拠点を置き、高齢化や人手不足等の地域課題に対応するため、集落の維持やにぎわいづくり、大学と連携した地域交流等に取り組んでいる。

今回の調査では、協議会の体制、運営状況、実施する体験交流事業やサロン支援事業等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、ふるさと体験村や交流カフェの視察を行った。



＜主な質疑等＞

- ・空き家の管理状況について
- ・交通アクセスの課題について
- ・ふるさと体験村の稼働率について

◆調査箇所：豊肥振興局

【概要】

豊肥振興局における組織及び人員、管内の概況と特性等、令和7年度重点項目（農林業の振興、ツーリズム振興等）、地区災害対策、交通安全、特定家畜伝染病防疫対策、地域活性化施策の推進（地域未来創造総合補助金、高齢化集落等支援事業費補助金）等について説明を受け、質疑と意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・中九州横断道路の全面開通に向けた取組について
- ・若手農業者の育成状況について
- ・食品企業との連携について

◆調査箇所：竹田着物部（竹田市竹田）

【概要】

竹田着物部は、歴史的・文化的資源が豊富な竹田市において、着物の着付け体験や着物展覧会の開催などにより、地域資源の継承や雇用創出等に取り組んでいる。

今回の調査では、竹田着物部のコンセプトをはじめ、総合補助金を活用したイベント「ひいな遊び」、「まちなか文化祭」、学校等と連携して着物を活用した感動づくり等の取組について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・使用する着物の収集や活用について
- ・雇用の創出について
- ・情報発信の工夫や課題について

令和7年5月13日（火）

◆調査箇所：宇目地域コミュニティ協議会（佐伯市宇目）

【概要】

宇目地域コミュニティ協議会は、佐伯市内でのネットワーク・コミュニティの先駆けとして令和4年12月に設立され、住民がお互いに支えあい暮らしやすい地域づくりに取り組んでいる。

今回の調査では、協議会の組織体制（区長会・委員会・2つの部会等）、令和7年度活動実績計画、交流イベント「宇目郷G o ふれあい市」等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・生活支援の取組状況について
- ・高齢者へのコミュニケーション支援について
- ・若者世代の定住に関する状況について

◆調査箇所：南部振興局

【概要】

南部振興局における組織及び人員、管内の概況、危機管理対応（令和6年度の地区災害対策本部の設置状況、南海トラフ地震対策、特定家畜伝染病対策）、地方創生への取組（地域未来創造総合補助金、地域課題対応事業）、持続可能な地域づくりの推進（ネットワーク・コミュニティ推進体制整備事業、高齢化集落等支援事業費補助金）、移住・定住対策等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・地域未来創造総合補助金による支援方法について
- ・移住定住対策の取組について
- ・佐伯民際日本語学校の設立経緯について

◆調査箇所：佐伯民際日本語学校（佐伯市蟹田）

【概要】

佐伯民際日本語学校は、佐伯市と連携協定を結び、在留外国人への日本語教育を通じて、人材育成や地域活性化に取り組んでいる。

今回の調査では、日本語教育機関としての目的（共生社会の実現、地域振興）、開校による地域振興効果（生産労働人口の創出）、開校スケジュール、地域消費の振興等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、学校施設の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・佐伯市に開校する経緯について
- ・地域企業への就職あっせんについて
- ・地域活力づくり総合補助金の使途について

◆調査箇所：喫茶チパータ（津久見市セメント町）

【概要】

喫茶チパータは、地域おこし協力隊の経験をいかしたオーナーが地域活力づくり総合補助金を活用して空き家を改修し、コミュニティカフェとして地域の活性化や交流人口の拡大に取り組んでいる。

今回の調査では、津久見市の地域資源を活用した体験交流活動や、喫茶チパータの運営やイベントの実施状況等について説明を受け、今後の展望を含めて質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・耕作放棄地を活用した和綿の栽培について
- ・地域住民によるカフェの利用状況について
- ・津久見市における移住者の状況について

令和7年5月19日（月）

◆調査箇所：春木川パーク（別府市汐見町）

【概要】

春木川パークは、パークPFI方式で別府市が選定したミネルバ株式会社等が運営を行っており、平地が少ない別府市における立体都市公園として、地域住民がスポーツに触れる機会を提供している。

今回の調査では、施設を開設した経緯や目的、運営の状況等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、フットサル等で使用する設備の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・スポーツ施設の活用状況について
- ・地域の部活動や別府市との連携について
- ・運営上の課題及び今後の事業展開について

◆調査箇所：東部振興局、別府県税事務所

【概要】

東部振興局における組織及び人員、管内の人口推移、災害対策・危機管理、地域活力づくり総合補助金を活用した地域活性化の推進、高齢化集落対策、地域課題解決対応事業（東部海水浴場活性化推進事業）、別府県税事務所における組織及び職員の状況、令和7年度重点取組事項、令和6年度県税決算見込額、税目別調定額及び徴収率の推移について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・空き家の活用について
- ・別府市のインバウンド客の回遊性向上について
- ・キャッシュレス納税の推進について

◆調査箇所：Sakura Beach Garden（日出町川崎）

【概要】

Sakura Beach Gardenは日出町の空き家を活用して民泊施設として開設され、地域食材を使った料理やカヌー等のスポーツ体験を組み合わせ、インバウンドや移住希望者のニーズに応じた宿泊施設として運営されている。

今回の調査では、施設開設の経緯や運営状況等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、宿泊施設やゲストハウス等の視察を行った。



<主な質疑等>

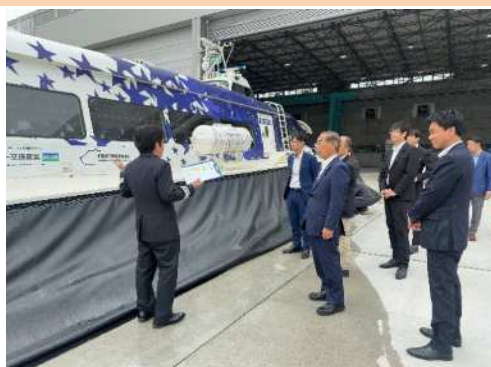
- ・地元住民とのコミュニケーションについて
- ・事業を継続する方策について
- ・移住者の生活体験の取組について

◆調査箇所：ホーバーターミナルおおいた（大分市駄原）

【概要】

ホーバーターミナルおおいたは、大分空港からの海上アクセス向上と大分県への誘客の起爆剤として期待されるホーバークラフトの拠点として県が整備し、大分第一ホーバードライブ株式会社によって運営されている。

今回の調査では、ターミナルの整備状況やホーバークラフトの運行体制・安全管理の取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、ターミナルや訓練状況等の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・運行中止の基準について
- ・トイレ設置の必要性について
- ・定期就航に向けた期待について

令和7年5月27日（火）

◆調査箇所：公立大学法人大分県立看護科学大学（大分市廻栖野）

【概要】

県立看護科学大学は、平成10年に開学して以来、大学院の開設や公立大学法人への移行などを経て、保健師や助産師、また養護教諭の養成課程を開設するなど、高度な保健人材の養成に取り組んでいる。

今回の調査では、大学の沿革、組織及び人員配置、学生の応募や就職の状況等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、キャンパスの設備や授業等の視察を行った。



＜主な質疑等＞

- ・診療看護師（NP）の国家資格化について
- ・国際看護教育の取組状況について
- ・男子学生の入学状況について

◆調査箇所：西部振興局、日田県税事務所

【概要】

西部振興局における管内の概況、組織・業務体系、危機管理（防災対策、特定家畜伝染病対策）、情報発信、地域創生部の業務（地域活力づくり総合補助金、移住・定住の促進等）、高齢化集落対策の推進、観光・商工業の振興等について、日田県税事務所における管内の概況と組織、令和7年度重点実施事項、令和6年度県税決算見込額、県税調定額、徴収率及び収入未済額の推移等について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・インバウンド向けの地域資源磨き上げや情報発信について
- ・県境を超えた誘客の取組について
- ・地域未来創造総合補助金の採択に向けた取組について

◆調査箇所：ひたひこ沿線酒蔵巡り実行委員会（日田市城町）

【概要】

ひたひこ沿線酒造巡り実行委員会では、福岡県と大分県をつなぐJR九州の「BRTひこぼしライン」の利用を促進して広域周遊の活性化を図るため、県境を超えて複数の酒造が連携し、PRに取り組んでいる。

今回の調査では、令和6年から7年にかけての取組やBRTの利用状況、改善の工夫等について説明を受け、今後の課題も含めて質疑及び意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・イベント全体の集客及び各店舗における売上状況について
- ・BRTを活用する上での課題について
- ・多様な地域資源の情報発信について

◆調査箇所：やませみ（日田市前津江町）

【概要】

「憩いの杜やませみ」は前津江町の活性化のために空き店舗を活用して開設した店舗であり、地域住民の有志により、加工品の販売や配食サービス等、地域を元気にする活動を行っている。

今回の調査では、自家製堆肥を使った野菜作り、加工品や農産物の販売（前津江マルシェ）、配食サービス事業等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・自家製堆肥の販売状況や販路拡大について
- ・活動に係る収支状況について
- ・「やませみ」に関わっている地域の状況について

令和7年5月28日（水）

◆調査箇所：里カフェ（中津市山国町）

【概要】

コアやまくに内に設けられた「里カフェ」は、山国町地域婦人団体連合会が運営するコミュニティカフェで、スーパーや飲食店が少なく困っている地域を活性化するため、地元食材を活用した食事メニューの提供や、弁当宅配サービス等を行っている。

今回の調査では、高齢者や子ども等に向けたサービスの提供や、移動販売車での総菜提供の取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、販売スペースやコアやまくに内の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・「里カフェ」の情報発信について
- ・移動販売車での活動状況について
- ・後継者の育成や男性の参加について

◆調査箇所：GLAMPING CABIN安心院（宇佐市安心院町）

【概要】

GLAMPING CABIN安心院は、家族旅行村「安心院」の復興を期して、安心院町の優れた自然環境や地元のワイン・食材等を活かし、グランピングに着目した施設を運営し、地域ブランドの向上や地域経済の活性化に取り組んでいる。

今回の調査では、施設設置の経緯、稼働状況、今後の課題等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、各施設内部の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・地域活力づくり地域創生事業費補助金の使途について
- ・利用客層（地域）及び情報発信方法について
- ・現状の稼働率及び今後の展望について

◆調査箇所：北部振興局、中津県税事務所

【概要】

北部振興局における管内人口の推移、組織及び人員、危機管理（防災関係、特定家畜伝染病対策）、地域の振興（地域活力づくり総合補助金等による支援）、宇佐神宮御鎮座1300年関連事業、宇佐駅の機能強化による地域・観光活性化事業、外国人労働者への支援について、中津県税事務所における組織、重点取組事項、令和6年度県税決算見込額、税目別調定額及び徴収率の推移等について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・宇佐神宮御鎮座1300年における周遊の取組について
- ・宇佐駅の改修状況について
- ・個人事業税の業種内訳について

◆調査箇所：宇佐神宮御鎮座1300年奉祝・勅祭記念実行委員会（宇佐市辛島）

【概要】

宇佐商工会議所は、宇佐神宮御鎮座1300年を契機としたPR事業のために実行委員会を設立し、観光誘客や将棋名人戦、食文化の情報発信等に取り組んでいる。

今回の調査では、第83期将棋名人戦、うさ食文化サロンによる新メニュー開発、巫女体験モニターツアー、大阪・関西万博と連動したPR展開等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・宇佐神宮に関する観光動態調査の状況について
- ・観光客の主なターゲット地域について
- ・誘客増に向けたPR方法について

令和7年6月3日（火）

◆調査箇所：中部振興局、公文書館、大分県税事務所

【概要】

中部振興局における管内の概況、組織と施策体系、危機管理（防災対策の推進、特定家畜伝染病対策）、地域創生（重点課題、管内各市への取組方針、高齢化集落対策、地域活力づくり総合補助金）、公文書館における組織及び職員、主な業務、収蔵資料、事業概要等について、大分県税事務所における管内の状況、組織及び所管事務、令和6年度県税決算見込額、税目別調定額及び徴収率の推移、特別滞納整理室の処理状況等について、それぞれ説明を受け、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ホーバーターミナルを活用した地域のにぎわい創出について
- ・由布市におけるオーバーツーリズムへの対応について
- ・大分市における地域振興について

◆調査箇所：ひやくすた実行委員会（臼杵市深田）

【概要】

ひやくすた実行委員会は、臼杵市が推進する「ほんまもん野菜」を中心に扱うファーマーズマーケットの開催や「うすき食の映画祭」の企画・運営に取り組み、食文化創造都市の推進に貢献している。

今回の調査では、実行委員会の設立経緯や目的、「U s u k i F a r m a r ' s M a r k e t ひやくすた」の開催状況、「臼杵オーガニック映画祭」の取組等について説明を受け、質疑及び意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・収益の状況について
- ・地域活力づくり総合補助金の使途について
- ・有機農業に取り組む農家の状況について



◆調査箇所：ブルーベリーファームうすき（臼杵市下ノ江）

【概要】

ブルーベリーファームうすきは、ブルーベリーを挿し木から育て上げ、クラウドファンディングや地域活力づくり総合補助金を活用して、カフェを併設した観光農園を開設し、臼杵市の新たな魅力を発信する施設として運営を開始している。

今回の調査では、施設を開設した経緯や目的、運営の状況、今後の展望等について説明を受け、質疑及び意見交換を行うとともに、農園やカフェの視察を行った。



<主な質疑等>

- ・年間を通じた運営の見通し及び今後の展望について
- ・クラウドファンディングの取組状況について
- ・周辺地域との関わり合いについて